

理工学部は数学2・物理・化学が必要になります。なお、数学1と数学2を受けている場合は1科目扱い、生物/Bと生物/Eを受けている場合も1科目扱いとなりますので注意してください。SubjectTestsは実施回によっては受けられない科目がありますので、日程と受験可能科目について事前にチェックしておきましょう。

### 3) 自分の学歴・海外滞在歴をチェックしておこう

ほとんどの大学の入学願書で今までの学歴（初等・中等教育と記されることが多いです。学校でいえば小学校・中学校・高等学校となります。）を記入することになります。小学校・中学校・高等学校に関して、学校名・所在地と、入学・卒業・転入・転出の時期、および在籍期間を調べておき、きちんと書き残しておきましょう。一度きちんとチェックし、書き残しておけば、出願書類を書く際に毎回考える必要がなくなり、時間の無駄を省くことが出来ます。学歴以外では、海外に滞在していた期間およびその場所について記載を求められることもあります。小さい頃に海外にいたことがある人は、ご両親に確認しておきましょう。

### 4) 学校の案内書を入手しよう

学校の概要やカリキュラムおよび成績の評価の仕方などが載っている案内があれば、出願時に添付を要求されることがあります。出願校数分程度入手できるなら、もらっておくといでしょう。出願校数分入手することが無理ならば、1部入手し、コピー用の原本とするとよいでしょう。高校によっては新学学期の始まるの時期のみ案内を配布するということもあるようです。その場合入手は難しいことになりますが、インターネットに高校の説明が載っているならば、その部分を学校の説明文として利用することも可能です。

### 5) 志望理由の検討を始めよう

自分が受けたい学部・学科に関して、大学でどんな科目を学びたいと思っているのか、将来どんなことをしたいと思っているのか（職業でもよいです、またはやりたいことをなるべく具体的に記してもよいです）を考えてみてください。初めからきちんとした文章にするのは難しいかもしれません。その場合、まず第1歩として、キーになるところをワードやフレーズだけでも考えておくといでしょう。出願時に「志望理由書」を書かせる大学もありますし、面接時に志望理由を聞いてくる大学がほとんどなので準備を始めましょう。

## 出願のための書類

### 海外から持って帰る出願のための書類

- 卒業証書の写し  
(Certificated True Copy of Diploma)  
学校長のサインのあるもの
- 成績証明書 (Transcript of School Record)
- 推薦状 (Recommendation) ※
- 海外在留証明書 (Certification of Residence) ※
- 統一試験成績評価証明書  
試験実施機関の Official Score を直接大学へ送るように求められることもあります。

注意：受験校数分の枚数が必要となります。  
あらかじめ受験校を決定していない人は、少し多めに持ち帰ってください。

### 帰国後に準備する出願のための書類

- 健康診断書 ※
- 証明写真
- 国内の高校の成績証明書 (在籍経験がある場合)

※：全て大学で提出が求められるわけではありませんので、事前に調べてください。

出典：2010年度版「帰国子女のための大学入試データ集」  
駿台国際教育センター、2009年7月発行

### 井原 俊哉（いはら としや）

駿台国際教育センター チーフカウンセラー



ニューヨーク日本人学校中等部卒業、大検取得、東京大学教養学部にて科学史・科学哲学を専攻。学校法人駿河台学園に入職し、大検コース・通信制高校サポートコース・個別指導コースにて進学指導と学習指導（生物・理系論文）を担当。現在は、帰国生のコースである駿台国際教育センターにてカウンセラーとして進学指導を担当。

### 駿台国際教育センター

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-5-4  
TEL：03-5259-3430 FAX：03-5259-3064  
HP：http://www.sundai-kaigai.jp/kokusai/  
E-mail：kokusai@sundai-kaigai.jp



帰国生大学入試の出願準備への具体的なアドバイスです。  
アメリカ・カナダの大学に出願した諸君は、その結果を心待ちにしているとします。いかがですか？

その人たちを含めて、この夏に帰国子女受験を予定・希望している人の高校生活は、あと1学期を残すのみとなりました。出願・受験準備は、もう始まっています。井原さんのアドバイスをよく読んでください。